



東小学校便り

PLUS

木 洩 れ 陽 +

令和6年2月13日 No.10

2月も半ばを迎えようとしております。立春を過ぎたあたりから、少しずつ気温も上がり、春の日差しを感じられるようになりました。三寒四温という言葉がありますので、寒さ、温かさを繰り返しながら、今後、本格的な春になっていくことでしょう。

さて、校長室の2鉢のコチョウランが花を咲かせ始めました。たくさんの蕾を付けていますので、これから少しずつ花を咲かせてくれることでしょう。このコチョウランもまた、春の準備をしているところです。実は、今月の詩で子ども達に紹介しているものは、高階紀一さんの「準備」という詩です。今の季節にふさわしいのではないかと考えています。



準備 高階紀一（たかしな きいち）

待っているのではない
準備をしているのだ 飛び立っていくための

見ているのではない
測ろうとしているのだ 風の向きや速さを

初めての位置
初めての高さを
子どもたちよ
おそれてはいけない
この世のどんなものもみな
「初めて」から出発するのだから

落ちることにより 初めてほんとうの高さが分かる
浮かぶことにより 初めて雲の悲しみが分かる

